

Neurosurgery Update in Hiroshima

脳に関する市民公開講座プログラム

正しく学ぼう! 脳のしくみ



日 時

平成26年 **8月10日** (日)

開場 / 13:30

講演 / 14:00~16:30

場 所

広島国際会議場 国際会議ホール2B「ヒマワリ」

広島市中区中島町1-5

●主催：Neurosurgery Update in Hiroshima 会長 荒木 攻

●後 援：一般社団法人広島県医師会、公益社団法人広島県看護協会、公益社団法人広島県薬剤師会、
公益社団法人広島県理学療法士会、一般社団法人広島県作業療法士会、広島県言語聴覚士会、
公益財団法人広島県体育協会、中国新聞社

ごあいさつ



Neurosurgery Update in Hiroshima

会長 荒木 攻

(医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 理事長)

本日は脳に関する市民公開講座に御参加下さいまして、誠に有難うございます。

Neurosurgery Update in Hiroshimaは昨年私達が立ち上げた組織で事務局を荒木脳神経外科病院に置いております。本会は医学、薬学における脳神経外科領域の診療、研究、及びその発展向上と、地域における方々の健康増進を図ることを目的としております。このような趣旨で昨年第一回目は8月に、将来を担う主として広島県在住の若い脳神経外科医の方々に対して、その知識、技術の継承をすべく本当に手術のできる全国屈指の著名な脳神経外科の教授を東京大、京都大、九州大から講師としてお招きし、シェラトンホテル広島で講演会を行ないました。

今回は第2回目として地域の方々の健康増進を目的として、脳とスポーツをメインテーマとして市民公開講座というかたちで開催することになりました。今回も全国から著名な先生方を講師としてお招きしております。森照明先生は卓球選手として、又、永廣信治先生は柔道選手としてお二人とも脳神経外科医である一方で運動選手として活躍をされてきました。本日は机上の空論ではなく、実体験に基づいた科学的なお話が伺えるものと期待をしております。又、斉藤延人先生には、脳の病気というと一般市民の皆様にはまだ比較的馴染みの薄い領域ではありますが、これをわかり易く御説明いただけるものと思っております。講演の最後には市民の皆様と講師の先生方との間に質疑応答の時間も設けておりますので、遠慮なく御発言願います。

それでは、御清聴の程、よろしくお願い申し上げます。



開会
挨拶

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 理事長 **荒木 攻** 先生

講演
1

14:00～14:30

座長／県立広島病院 副院長(脳神経外科 主任部長) **木矢 克造** 先生

「脳とスポーツ」

日本臨床スポーツ医学会 名誉会員 大分岡病院 院長 **森 照明** 先生

「スポーツをすると脳が活性化される!」、「スポーツをする子供は体力も、頭も良い!」、「中高年のボケ予防にはスポーツが良い!」など、スポーツは脳にとってもすばらしいという報告が多くあります。

①スポーツをするとなぜ脳に良いのでしょうか?一脳の血のめぐりと代謝がよくなります。

無理をすると血流が悪くなることもあります。

②スポーツでは脳のどこを働かせている?一手足を動かす運動領野やバランスの小脳、視野の後頭葉、判断する前頭葉、脳の中核・脳幹部などほぼ全部使っています。

初心者とベテランは脳を使う場所が違います。

③メンタルトレーニングは脳のどの部位を使っている?

主に前頭葉です。目をつぶってイメージすると効果的です。

脳とスポーツ一子どものときからスポーツで脳を鍛えてください!

講演
2

14:30～15:00

座長／医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 院長 **沖 修一** 先生

「脳とスポーツ外傷」

徳島大学医学部 脳神経外科 教授 **永廣 信治** 先生

スポーツは脳の血流や活性化に好影響を与えますが、転倒や打撃により脳損傷を起こすこともあり注意が必要です。特に柔道やボクシング、ラグビー、アメリカンフットボール、サッカー、アイスホッケーなどのコンタクトスポーツでは、脳振盪や重大な脳損傷をきたすことがあります。最近脳振盪は、意識消失や健忘だけでなく、頭痛やめまい、気分不良など様々な症状を含んでおり、幅広く捉えられています。脳振盪を起こした日は競技に復帰できません。症状が消失しないうちに復帰すると、次の脳振盪を起こしやすくなり、脳振盪を繰り返すと軽い外傷でも急激な悪化や慢性の脳障害の危険があります。講演ではスポーツによる脳振盪や脳外傷の予防、対応について話します。

15:00～15:20 休 憩

講演
3

15:20～15:50

座長／広島大学医学部 脳神経外科 教授 栗栖 薫 先生

「脳の病気を知る」

東京大学医学部 脳神経外科 教授 斉藤 延人 先生

脳は人の意識を形成するばかりでなく、体の各部の情報を統合し、逆に各部に指令を出して体の働きを調節する重要な臓器です。脳は頭蓋骨の中に脳脊髄液と呼ばれる液体に浮かぶようにして収められています。硬い甲羅をもつ生物のように、脳は物理的によく守られている臓器ですが、頭蓋骨内の腫瘍などで場所を占拠されると脳がつぶれるという弱点もあります。また、エネルギーを大量に使用するため、血流障害に弱いという側面があります。

そのような脳の病気には、脳腫瘍、脳卒中とも呼ばれる脳血管障害、けがや事故による頭部外傷、細菌やウイルスが頭蓋内に入ることによって起こる感染症等があります。また手足のふるえや痛みなど脳の機能の不調が問題となる機能的疾患があります。この講演ではそのような脳の代表的な疾患について解説します。

16:00～16:30

Q&A

「トークセッション」

司 会／栗栖 薫 先生

パネリスト／森 照明 先生・永廣 信治 先生・斉藤 延人 先生

日常生活の気になる点や疑問など、どんな質問でも構いません。
講師の先生方がわかり易くお答えいたします。

MEMO

閉会
挨拶

社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院 理事長 大田 泰正 先生

Neurosurgery Update in Hiroshima 事務局

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 内

〒733-0821 広島市西区庚午北二丁目8-7
TEL(082)272-1114 FAX(082)272-1646
E-mail : matsuma@arakihp.jp

皆様へのお願い

※講演中は、携帯電話の電源をお切りくださいますようご協力をお願いいたします。
※講演の録音、撮影はご遠慮ください。